

人権旬間の取組

今年もはや12月、1年の最後の月を迎えました。街並みは紅葉の彩りからクリスマスの装いへと移り変わり、キラキラと輝くイルミネーションが年の瀬へと心をいざないます。

11月29日の人権参観日には、多くの保護者の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。感染対策にもご協力いただきましたこと、合わせて感謝申し上げます。

さて、本校では11月8日から人権旬間の取組を行ってきました。人権標語やポスター作り、学級での活動、参観で見ていただいた人権学習等、全校みんなで人権について考える期間となりました。特に「人権の木」の取組では、友達のいいところ・がんばっているところ・すてきなところをたくさん見つけ、その中のいくつかを給食時間に放送で紹介しました。優しい言葉や励ましの言葉をかけてもらったこと、大縄大会で褒めてもらったことなど、子どもたちがとても温かな気持ちになったことが伝わってきました。また、友達のよさや頑張りについて書かれたものもありました。

朝の登校の時、地域の人に自分からあいさつしていいと思った。

バトミントクラブで、1人あまってしまうからと3人で練習していた。

大縄練習の時、5年生が1年生をはげましてやさしいなと思いました。

6年生がだめなことをやさしく注意していいと思いました。

トイレでトイレットペーパーがなかったら、友達がかえていたからいいと思いました。

登校班の班長さんが、いつも安全に連れて行ってくれるので、私も班長になったら安全に連れて行ってあげたい。

どれも、子どもたちの学校生活の中で見られることで、特別なことではないかもしれませんが、見ても日常の景色として気に留めていないことかもしれません。「人権の木」の取組をとおして、友達の良さや頑張りを見過ごすことなく見つけ、認められる子どもたちに、私たち大人も見習うべきことがあると感じました。「すごいね。優しいね。」と褒めることや「頑張ったね。」と認めることは、ごく日常の当たり前前に思っている子どもたちの行動の中に、実はたくさんあるのではないのでしょうか。わたしたちが、子どもたちの目線に立ち、一つでも多くのよさや頑張りを見つけ、言葉や態度で伝えることで、子どもたちはまた、友達の良さを見つける新たな優しさの視点を身につけるのだと思います。是非、ご家庭においても、じっくりと子どもたちと向き合う時間をさらに大切にしてくださいと嬉しいです。

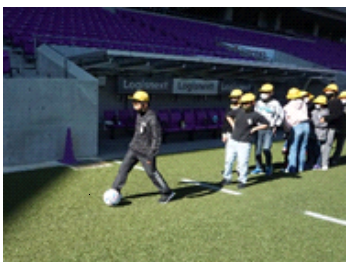
2学期も残りわずかとなってきました。寒さが厳しくなってくる頃でもあります。子どもたちの健康管理にはくれぐれもご留意いただきますよう、よろしく願いいたします。

亀岡市立詳徳小学校長

平井 眞理子

シビックプライド醸成プロジェクト！！

市内にあるスポーツ施設を見学・体感することでスポーツに対する関心を高め郷土愛を深めることを目的に、11月15日（火）、5・6年生がサンガスタジアムを訪れました。スタジアム内を見学したり選手入場を実際に体験したりしました。また、選手席に座ったりピッチ内でボールを蹴ったりする貴重な体験をしてきました。



持久走大会！駅伝大会！

11月12日（土）の「亀岡市小学生持久走大会」には、5・6年生の希望者が出場し、保津川グラウンドを力強く走り抜けました。また、19日（土）に丹波自然運動公園で開催された「京都丹波キッズふれあい駅伝」では、6年生の代表児童が仲間と共に汗を流し、襷をつなぎました。素晴らしい頑張りでした。